

横須賀美術館の目標と自己点検項目(案)

平成21年(2009年)10月20日
横須賀美術館評価委員会 資料

主な根拠	目標
「美術館条例」	①美術を通じた交流の促進
「美術館基本計画」	②質の高い展覧会の開催
アンケート	③やすらぎの場の提供
「美術館活動の基本方針」	④知的好奇心の育成と充足
	⑤福祉活動の展開
	⑥学校との連携
	⑦市民との協働
「美術館基本構想」	⑧子どもたちへの美術館教育
	⑨優れた美術品の収集・保管

目標	点検項目	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度9月 末までの実績	評価指標
①美術を通じた交流の促進	a. 年間観覧者数	165,961人	106,520人	48,833人	10万人
	b. 年間来館者数	386,175人	246,337人	117,445人	20万人
	c. 市民/全体の比率	22.8%	36.8%	28.8%	40%に近づける
	d. パブリシティの状況(雑誌・新聞からの認知率)	27.2%	17.2%	13.8%	20%
	e. アクセス満足度	(未調査)	(未調査)	82.9%	
②質の高い展覧会の開催	a. 企画展集客率(企画展目的の来館者/サンプル数)	43.2%	52.2%	53.6% ※	50%
	b. 企画展の満足度	70.5%	76.0%	77.2% ※	70%
	c. 所蔵品展の満足度	65.8%	60.1%	59.6%	65%
	d. 谷内六郎館の満足度	86.9%	77.3%	78.2%	80%
	e. リピート率(複数回来館者/回答者)	20.5%	27.5%	34.1%	50%に近づける
③やすらぎの場の提供	a. 館内アメニティ満足度	(未調査)	(未調査)	90.2%	
	b. スタッフ対応の満足度	78.9%	69.6%	80.5%	80%
	c. ミュージアムショップの満足度	(未調査)	85.4%	63.6%	80%
	d. レストランの満足度	(未調査)	67.6%	64.9%	80%
	e. 図書室の満足度	(未調査)	68.6%	68.0%	80%
	f. 観音崎公園への滞在時間平均	(未調査)	2.70時間	2.66時間	3時間

※企画展ごとの特性を考慮し補正した値。(各展観覧者数)×(各展指数)+.../(観覧者合計)

目標	点検項目	自己評価の方法	評価指標
④知的好奇心の育成と充足	a. 企画展・所蔵品展・谷内六郎館	個々の事業のねらい、反省点等に対するレポート(事業報告書)を作成、共有する	・収蔵作品を中心とした専門的な調査研究や美術館活動に関する研究を行い、その成果を積極的に来館者に還元している。 ・美術作品との出会い、美術作品を通じた市民どうしのコミュニケーションを促している。
	b. 講演会・アーティストトークなど		
	c. 一般向けワークショップなど		
	d. 学芸員によるギャラリートーク	年度ごとの状況をまとめたレポートを作成	
	e. 学芸員による論文等	学芸員による相互評価	
⑤福祉活動の展開	a. 福祉とアートをテーマとした講演会の開催	個々の事業のねらい、反省点等に対するレポート(事業報告書)を作成、共有する	・年齢や障害の有無に関わらずすべての人が充実した時間を過ごすための環境づくりを積極的に行っている。
	b. 障がい児を対象としたワークショップ		
	c. 障害者施設(対話鑑賞)、高齢者施設などの受け入れ	年度ごとの状況をまとめたレポートを作成	
	d. 託児サービスの実施	年度ごとの状況をまとめたレポートを作成	
⑥学校との連携	a. 児童生徒造形作品展の開催	事業のねらい、反省点等に対するレポート(事業報告書)を作成、共有する	・教師との緊密な連携によって、児童生徒にとって親しみやすい鑑賞の場を提供している。 ・鑑賞の場としてはもちろん、社会見学そのほかの美術以外の分野でも協力関係がもたれている。
	b. 小学校美術館鑑賞会の受け入れ	受け入れ状況、先生方の感想などをまとめたレポートを作成	
	c. 中学生のための美術鑑賞教室		
	d. 研修等(職業体験、インターンシップ他)の受け入れ	年度ごとの状況をまとめたレポートを作成	
⑦市民との協働	a. サポートボランティアの活動状況	年度ごとの活動状況、ボランティアの感想をまとめたレポートを作成	・美術館の事業への市民参加の機会が十分に確保されている。 ・ボランティアの主体性が尊重され、やりがいをもって活動している。
	b. プロジェクトボランティアの活動状況		
⑧子どもたちへの美術館教育	a. 子ども向けワークショップ	個々の事業のねらい、反省点等に対するレポート(事業報告書)を作成、共有する	・コミュニケーションを通じて美術の意味や価値、美術館の役割などに気づき、考え、楽しみながら学ぶ機会を提供している。 ・鑑賞と表現の両方を結びつけたプログラムを実施している。
	b. アーティストと出会う会		
⑨すぐれた美術品の収集・保管	a. 作品収集の状況	年度ごとの状況をまとめたレポートを作成	・収集方針に基づいてすぐれた作品を収集し、適切な方法で管理している。 ・所蔵作品が館内ばかりでなく、ひろく価値を認められ、活用されている。
	b. 保存・修復の状況		
	c. 所蔵作品の貸出状況		